

筑波大学

○ 産学官連携体制図

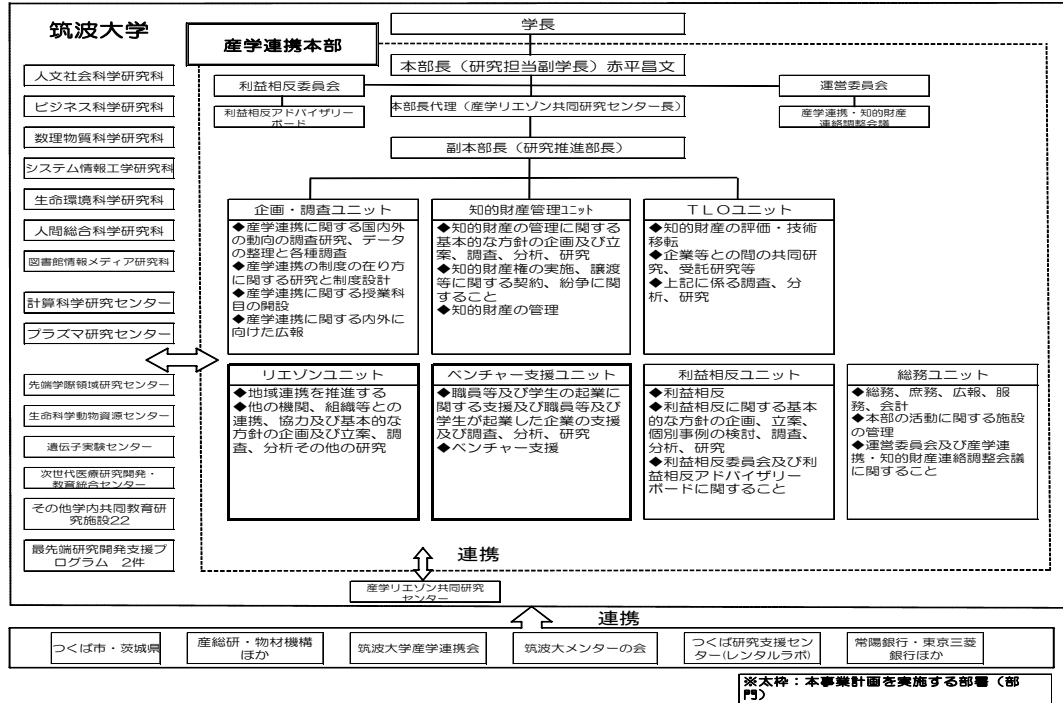
大学等名 : 国立大学法人筑波大学

・本部の構成概要

平成21年4月に従来の知的財産統括本部を発展的に改組し、新たに研究担当副学長を本部長とする「産学連携本部」を設置し、同本部に企画・調査、知的財産管理、TLO、リエゾン、ベンチャー支援、利益相反、総務ユニットの7ユニットを置き、教員・事務員・本部で雇用している産学官連携コーディネーター、技術移転マネージャー等の専門家を配置した。

・本部的特徴

これにより、企業からの技術相談、企業と大学の橋渡し、知的財産の創出からその権利化及び技術移転までを一体的に推進することができる体制を整備した。



○ 成果事例

地域との連携及び人材育成

大学等名 国立大学法人筑波大学
機関名称

要約

筑波研究学園都市という研究機関が集積する地域に立地しているが、これまで産学官連携に関する各機関間の連携が少なかった筑波研究学園都市内の大学等、研究開発型の独立行政法人、ベンチャー支援機関・金融機関とて、つくば地域における産学官連携を推進するための様々な課題を協議する場として、「つくば産学官連携協議会」等を発足・開催し、筑波研究学園都市内でイノベーションを促進させるため、一層緊密に地域連携を推進する土台を築くことができた。また、本事業により雇用した常勤職員を含め、筑波研究学園都市内の各研究機関等の産学連携実務者を対象に「産学官連携に関する研修会」等を開催し、人材育成を推進することができた。

連携機関

筑波技術大学、高エネルギー加速器研究機構、国立環境研究所、気象研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、建築研究所、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、茨城県工業技術センター、茨城県商工労働部産業政策課、つくば市経済部産業振興課、常勤銀行、筑波銀行、日本政策金融公庫、西京信用金庫

研修会風景



平成21年7月28日に開催した平成21年度産学官連携に関する研修会(第1回)において「共同研究基礎講座」について研修を行った。

活用

技術移転の概要

成果内容

●地域との連携及び人材育成の取組

○つくば地域における産学官連携を推進するための様々な課題を協議するため、「つくば産学官連携協議会」を発足・開催し(計4回)、協議・情報交換等を行った。また、連絡会を計3回開催し、研修会実施内容等について検討した。これらにより研究開発成果の産業界への移転とそれによる新技術・新産業の創出に関して、一層緊密に地域との連携を推進する土台を築くことができた。

・主な議題

- ・産学官連携拠点の形成支援「グローバル産学官連携拠点」について
- ・今後の産学官連携推進活動を担う人材の育成について
- ・産学官連携に関する研修会等について

○本事業により雇用した4人の常勤職員を含め、筑波研究学園都市内の各研究機関等の産学連携実務者を対象に「産学官連携に関する研修会」等を計10回開催した。また、筑波研究学園都市内各研究機関においてベンチャー企業の立ち上げを志す者、立ち上げて間もない者を対象に「ベンチャー支援に関する研修会」を計4回開催した。これらにより研修を受けた者や機関関係者からも大変有意義であり、引き続き、実施してほしい等の要望意見があるなど、産学連携実務者の研鑽の場とすることができた。

・主な研修内容・テーマ：「産学官連携活動について」、「技術契約概論」、「特許出願から登録まで」、「大学の知財マネジメント」、「特許を事業に結びつけるためのマーケティング戦略」、「国際出願について」、「我が社の挑戦～国際ライセンスを武器にして～」、「発明から出願まで」、「ベンチャーの技術経営について」、「創業アイデアからビジネスプラン作成まで」他